



PURE CHABLIS

One grape

One region

One of a kind

10月28日（水）

Only from France

シャブリ/ Chablis の 2020 : 早熟であると 同時にオーソドックスなヴィンテージ

2020 年は 永遠に記憶に残るであろう。ぶどう樹はやや急いで生育サイクルを続けたが、世の中は、コロナウィルスから身を守ろうとしていた。

ヴィンテージ 2020 は、その早熟さが特徴で、収穫は 8 月に始まった。オーソドックスであることでも際立ち、とてもバランスが良く、シャブリ/Chablis のワインに特徴的な爽やかさを持っている。

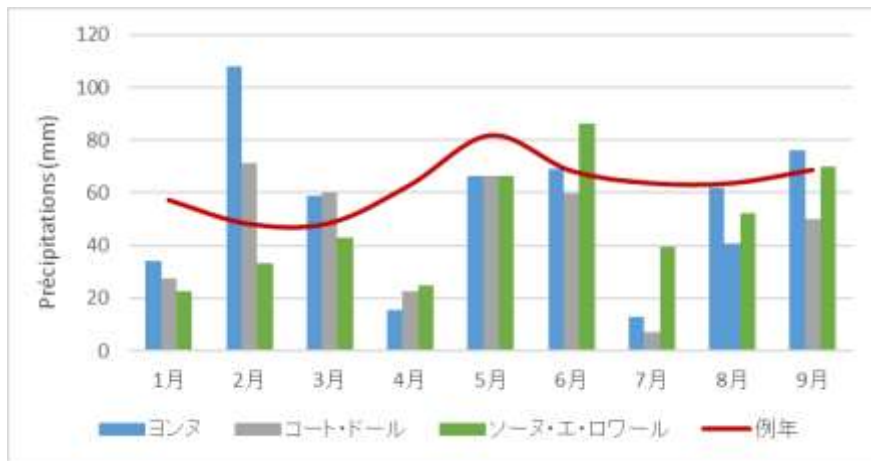
すべては、暖かく湿度の高い冬から始まった。これにより、ぶどう樹はかなり早く生長サイクルを開始することができた。発芽は、3 月の後半に始まった。

フランスでロックダウンが始まった頃、栽培者たちは春の霜と戦うために夜に起きた。3 月末から 4 月初め、そして 5 月 11 日と 12 日、観測点の気温は氷点下となった。運よく、若干の湿度があったために、被害が抑えられた。被害は、最も凍結したエリア、特に谷底に限られた。

3 月に見られた生長サイクルの早さは、失われなかった。開花は約 10 日間続いた。花穂の着生具合は良く、豊富な収穫量を予想させた。しかし、春の霜の被害を受けた一部の区画では、わずかに花ぶるいや結実不良が見られた。

そして、暑く、乾燥した夏が来た。水不足により、成熟の速度が緩まり、果実の重量も抑えられ、このため収穫量も抑えられた。

月ごとの降雨量 (mm)

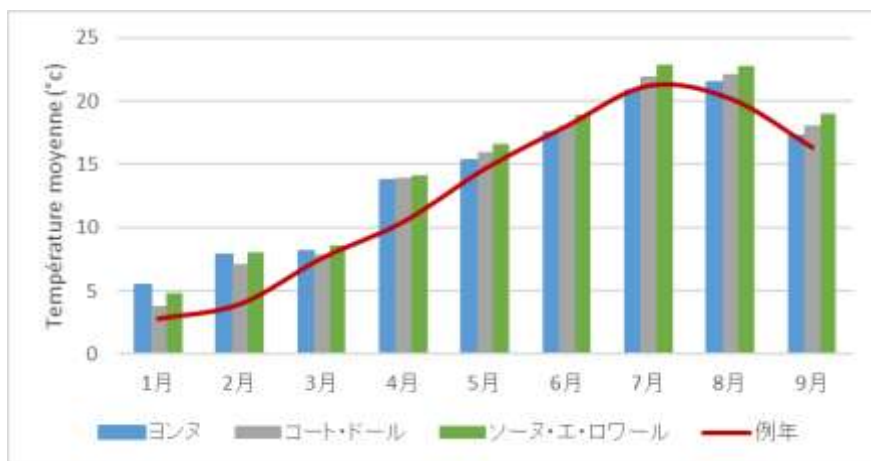


8月、ぶどう畑には幾分かの恵みの雨が降ったが、雨の降り方にはばらつきがあり、プイイ・シュル・スラン/Poilly-sur-Serein、ヴィヴィエ/Viviers、ベル/Béruあるいはシシェ/Chichéeの一部のように、他よりも雨が少ない村もあった。

一部の畑は雹の被害も受けた。5月にクールジ/Courgisの一部の区画が被害を受けた後、8月12日には、ベル/Béruとベイヌ/Beinesの村々が被害を受けた。

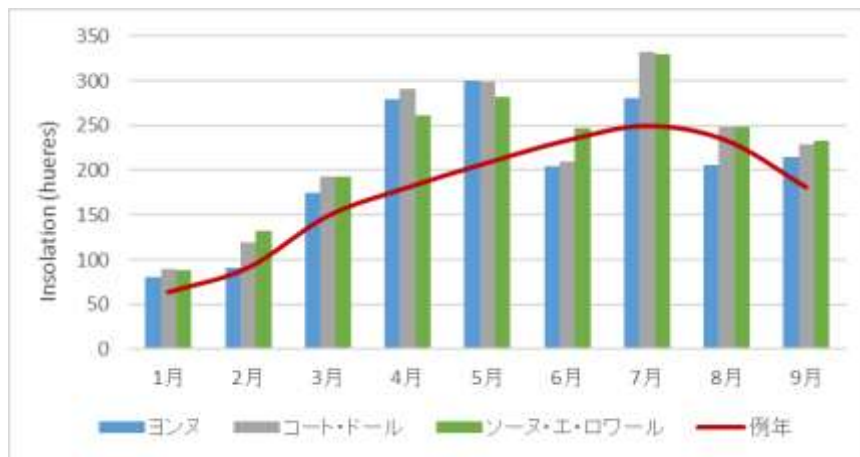
ぶどう樹の生長サイクルは、過去20年平均よりも常に15~20日早く進み、成熟が終了したのは、8月の盛り、例年よりも暑い条件の中であった。このためヴィンテージ2020は、正確に言えば、暑いヴィンテージではなく、むしろ早熟のヴィンテージである。

月ごとの平均気温 (°C)



収穫の直前のぶどう畑の衛生状態は素晴らしかったが、日が沈む方向に向いた区画、石の多い土壌の場所や、台木の樹勢が弱い場所では、夏に成熟に達したことで、他の場所よりも苦しんでいた。具体的には、果房の焼けや葉焼けが起こっ

月ごとの日照時間（時間）



最初の収穫は8月24日に始まった。翌週には事実上、すべての場所で収穫が行われていた。収穫は3週間におよび、9月中旬に終了した。

2020年は、適切な収穫日を選ぶことが難しい仕事であった。しかし、天候条件は良かったので生産者はとても穏やかに、望んでいたリズムで、収穫日の決定をすることができた。

開花の後、生産者は豊作を予想していた。しかし乾燥が来てしまった！ 圧搾機の状態を見ると、収穫量は期待ほど多くはない結果となった。

収穫量を正確に評価するのはまだ早すぎる、それほどに区画によるばらつきが大きい。しかしながら、生産者たちは、60hl/haの可能性があり、平均は52 ~ 57hl/haという収量で一致している。

アルコール発酵は、素早く、問題なく進んでいる。果汁の糖度は例年並みで過度ではなく、リンゴ酸は少ないが、バランスと爽やかさを保つために十分な酒石酸があり、それがシャブリ/Chablisのワインの魅力を引き立てることが予想され、品質が約束されている。

早熟なヴィンテージだが、シャブリ/Chablisにとってはオーソドックスなヴィンテージである。

www.chablis.jp

Françoise Roure

BIVB

Tél. : +33 3 86 42 42 22

E: francoise.roure@bivb.com

Twitter : @PureChablis

Instagram : @VinsdeChablis

#PureChablis



VINS DE
BOURGOGNE